

こ う け ん で こ う け ん 後見DE貢献

～IKUKOのつぶやき～



2022年8月1日
発行所
オールフォーワングループ

国松司法書士法人
行政書士国松偉公子事務所
オールフォーワン土地家屋調査士事務所
〒1850021
東京都国分寺市南町三丁目22番2号
ゼルコパビル4階
Tel.0423000255 fax0423000256
office@kunimatu.jp

ものすごく暑い日、大雨の日、ジトジトと不快な日など、昨今この日本ではかつて経験したことのない気象状況が続きます。その異常さには目を見張るものがありますね。皆さまお元気にお過ごしでしょうか。

さて、今回は本文記載のとおり、芸の世界から「後見」について学びました。私たちはついつい目先のことに注意を奪われがちです。そもそも「後見」って何なのか？何故「後見」が必要なのか？何故私たちは「後見」に携わっているのか等々、自らに問うてみる必要があると思います。超高齢化社会を迎えた今、成年後見が脚光を浴びていることは想像に難くありません。私たちが成年後見に携わる理由は、元々司法書士が財産管理が得意であるということもありますが、そもそも社会貢献していることを強く実感できるからだだと思います。

ところで、人にはそれぞれ歴史があります。どこに住み、どんな教育を受けて、どんな家族に囲まれ、どんな仕事をし、どんな趣味を持っているかなど、その方の歴史を踏まえて成年後見は本来カスタマイズされていくべきものだと思います。

先日200名のご本人の成年後見を5名のスタッフで手がけている土業事務所があると某コンサルティング会社の方から聞きました。私は首を傾げましたが、IT、AI、IOTなどを駆使して200名のカスタマイズが可能となれば、理想的な成年後見が実現するかもしれませんね。

IKUKOの三識 ～知識～見識～胆識



IKUKO

さて、皆さんは歌舞伎や日本舞踊にも欠かせない存在「後見」があることをご存知でしょうか？今回は、いつもとは少し違う角度から「後見」について考えてみました。

芸の世界の「後見」とは表（舞台）に踊る人が居る時、その後ろで控えて座っている人です。舞台上で演技者を補助している人のことですが、とても重要な役目が色々あります。

◆では、その仕事や役割、大事なことはどのようなものなのでしょうか？◆

- ・踊り手がスムーズに動けるために手助けし、色々な形で補助する人
- ・踊り手が倒れたら代わりに踊らなければならない→つまり、担当しているもの全部を覚えていなければならない感覚＝それくらい責任、覚悟が必要な役割
- ・責任感がある分、ものすごいプレッシャーがかかる時もあるので、その緊張感に負けないように日頃から備えておく

・どんなことがあるか分からないからこそ、知識の他に臨機応変さが大切

◆歌舞伎や日本舞踊の「後見」において気をつけることは？何でしょうか？◆

出るタイミング、素早く、見えないように、目立たないように、決して（表）舞台の邪魔にならないように！いずれの場面でも芝居や舞踏の段取りや流れを全て心得た上で、呼吸を合わせて動かなければなりません。つまり、信頼が必要な陰の名人芸が発揮されるほどの実力者でないと務まらない役割と言えます。

その話を知り、成年後見制度における『後見』もまた、然り…と、背筋が伸びる想いを感じました。

～～12月に法人化されたことに伴い、後見人等については、国松個人の辞任 および法人の選任許可を家庭裁判所へ申立てしております～～

★現在、受任している案件をすべて同時に申立はできないため、通常の定期報告時期を目安に（一部を除いて）順次提出させて頂いています。家庭裁判所から審判が下り（こちらは提出後、しばらく時間が掛かります）就任が確定しますと、まずは、法務局にて新たな「登記事項証明書」を取得します。

★その後、市役所や年金関係、公共機関などへ後見等の登録や書類の郵送先変更を届けます。お預かりしている金融機関への各変更、それぞれの方々に合わせ、必要な申請を順次手配しています。実は、コロナ禍となって以降、各機関の開所時間や窓口業務も制限が設けられたり、予約が取りにくい状況だったり、変更はなかなかトントン拍子に～とはいきません。

★手続きについては、ひと昔前と比べると、テレビ電話によるシステムが確立され、画面を見ながらのやり取り、手許の機器でコピーやスキャンもOK！とか、タブレットに署名で完了！も当たり前になりつつあります。随分合理的になりました。

★直接、人と人が対面で紙の書類に書いてやり取りすることは、今後、益々減る一方なのかも…と思うと、それはそれで少し寂しい気もしますね。



YouTube

国松偉公子の
相続相談室
(*^o^*)



★LINE★
国松司法書士法人
新アカウント
友だち追加
どうぞよろしく☆

